

知の大冒険

特別展

— 東洋文庫 名品の煌めき —

教科書で見た
あの本物が!



国宝『文選集注』



『御成敗式目』

全て公益財団法人東洋文庫蔵

※会期中に展示替えがあります。

令和4年 9月27日[火]—11月23日[水・祝]

開館時間 ◆ 9:30~17:00 [入館は16:30まで] 休館日 ◆ 10月3日[月]・11日[火]・17日[月]・24日[月]・31日[月]、11月7日[月]・14日[月]・21日[月]

主催 ◆ 茨城県立歴史館 / 読売新聞社 監修 ◆ 公益財団法人東洋文庫

後援 ◆ 朝日新聞水戸総局 / 毎日新聞水戸支局 / 産経新聞水戸支局 / 茨城新聞 / NHK水戸放送局 / 茨城放送

[入館料] 一般610円(490円)・大学生320円(240円)・満70歳以上300円(240円) [年間パスポート] 一般1,050円・大学生520円

※()内は20名以上の団体料金。高校生以下、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・指定難病特定医療費受給者証をお持ちの方と付き添いの方1名、県民の日(11月13日(日))の入館者は無料。

茨城県立歴史館

Tel.029-225-4425

Fax.029-228-4277
〒310-0034 茨城県水戸市緑町2-1-15
<https://rekishikan-ibk.jp/>



新型コロナウイルス感染症対策により、参加人数を制限したり、イベント等を中止したりする場合があります。

茨城県立歴史館

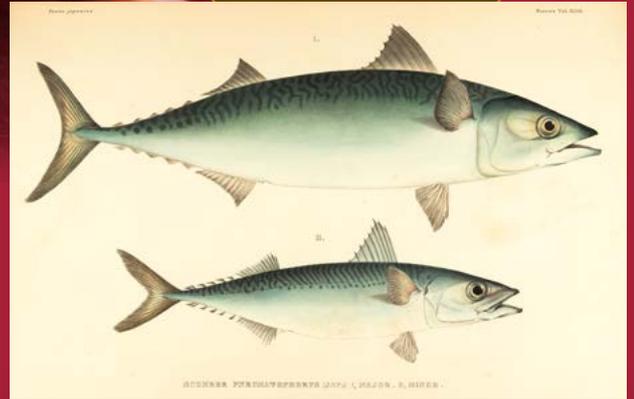
検索

本物で！知の大冒険へ！

東洋文庫とは

東京都文京区に位置する東洋文庫は、東洋学分野でのアジア最大級の研究図書館であり、世界五大東洋学研究図書館の一つです。三菱第三代社長岩崎久彌が、北京駐在のオーストラリア人ジャーナリスト、G.E.モリソンの約2万4千冊に及ぶ旧蔵書を購入したものを核に1924(大正13)年に東洋文庫を設立しました。

本展は、東洋文庫の所蔵する約100万点の書物や地図、絵画から厳選した名品約100点を紹介する巡回展です。誰もが教科書等で一度は目にしたことのある書物や絵画から始まり、世界に数点しかない稀覯(きこう)本や「未知の知」を伝える情熱にあふれた書物や地図絵図、絵画図版などの「大海原」に一緒に漕ぎ出していきましょう。日本の周囲の海から外へ航(わた)るように文化の近しさと大いなる違いを共に感じ取ってください。知や文化はぶつかり合うものです。東洋世界の中での融合や西洋世界との化学反応が、グローバルな世界に生きる我々にはどのように見えるでしょうか。実は知らないことは世にたくさんあります。「知への渴望」サインを出してみましょう。本展での知の大冒険を終えたあなたに、書物や絵図のもつあふれるほどの「知の実感」を持っていただけたら幸いです。



『日本動物誌』
(会期中に展示箇所が変わります)



『東方見聞録』1611年刊
(10/25~11/23展示、9/27~10/23は1496年刊本を展示)



『アヘン戦争図』
(10/25~11/23展示)

記念
講演会

『アジアをめぐる知の冒険
東洋文庫の
歴史と名宝をひもとく』(仮)

みどころ
解説

【定員】50名
事前予約要入館券

【定員】100名
事前予約要入館券

日時: 令和4年10月15日[土]
14:00~15:30
講師: 岡崎 礼奈 氏(東洋文庫学芸課長)
会場: 当館講堂

日時: 令和4年11月3日[木・祝]
14:00~
担当: 当館学芸員
会場: 当館講堂



《交通のご案内》

- ◎茨城交通バス(水戸駅北口4番のりば)「桜川西団地」等借楽園方面行き乗車、「歴史館借楽園入口」下車、徒歩2分。
- ◎常磐自動車道水戸インターチェンジから約7km、車で15分。

特設
展示

全て公益財団法人東洋文庫蔵

茨城の俳諧

一芭蕉・蕪村・一茶が訪れた茨城一

令和4年 9/15[木]~10/30[日]